

すぎのこ

141

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2016 1/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
 飯能研修センター：〒357-0063 埼玉県飯能市飯能325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155
 滝恋研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝恋村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1662

2面・3面 巡回公演だより／制作
 だより／園からの声
 4面 発声講習会報告／JKA補助
 事業報告／事務局だより ほか

<http://www.suginoko.org/>
[E-mail: support@suginoko.org](mailto:support@suginoko.org)


2016年
 おめでとうございます
 あけまして

理事長
 小澤 幸雄

本年が皆様にとって、夢と希望に満ちた輝かしい一年となりますようご祈念申し上げます。

今年はおリンピックの年、日本のアスリート達の活躍で、夢と希望を日本中に届けて頂きたい！と期待する次第です。

いや、その前に、無差別テロや不幸な事件が起きないように祈る事が先でしょうか？この小さな地球で、そんな心配をさせてしまうこの世の中が実に悲しい限りですね！

すぎのこの創立は、東京オリンピックの昭和39年辰の年でした。それから52年を経た今年のオリンピックは申の年。次期東京オリンピックは、平成32年子の年です。考えてみればオリンピックは「子・辰・申年」で繰り返して実施されていることに気が付きました。

オリンピックは4年毎に開催され、干支は十二支なのだから当たり前の事ではあるが、今まで考えてもみなかった行事と干支の関係に他愛のない新鮮さを感じ、新年や季節の行事とは、そんな無駄な時間や空間を与えてくれる格好の祭事なのだと感心しきりです。

すぎのこの今年の行事！

すぎのこは今年、例年の全国巡回公演に加えて、二つの事業を計画しています。

一つは、2月13日（土）と14日（日）に横浜で開催する横浜人形の家「みんなまつり」です。私が以前専門委員として関わっていた横浜人形の家との共催で、横浜市の後援を受け開催します。

入場料には人形の家の入館料も含まれていますので、2月の連休には人形劇と世界の人形に触れ、中華街でのひと時を過ごしてみても如何でしょうか？ご来場お待ちしております。

もう一つは、7月末か8月上旬（現在日程調整中）に、中国と韓国の小学生を招き、「国際わんぱくクラブ2016 嬌恋」を開催予定しています。国際わんぱくクラブは過去に三回実施してきました。

その主旨は、同じ肌の色をし、

同じ箸を使い、同じお米を食べる日本と中国と韓国。似た文化を持っている民族同士がどうしたら仲良くしていけるのか？どうしたら自然と人間が仲良くしていけるのか？等をテーマに「国際わんぱく会議」などを実施しながら開催してきました。

第1回は一九八九年に群馬県嬌恋村で、第2回は一九九四年に中国内モンゴル自治区で、第3回は一九九九年に韓国漢江流域で。

今回は、嬌恋村で毎年開催されている「嬌恋カップ少年サッカー大会」に特別参加すると共に、国際わんぱく会議や、各国自慢料理でのおもてなし等、体験を通して隣人や自然や未来を考える機会を作りたいと考えております。

関心ある方々の参加協力ご支援をお待ち致しております。

横浜人形の家「みんなまつり」ご案内

【日 時】 平成28年2月13日（土）午後2時00分開演（開場30分前）
 平成28年2月14日（日）午前11時30分開演（開場30分前）
 平成28年2月14日（日）午後2時00分開演（開場30分前）

【会 場】 横浜人形の家4階「あかいくつ劇場」
 横浜市中区山下町18番地 電話／045-671-9361

【料 金】 前売券1,500円・当日券1,800円 含：人形の家入館料
 （3歳以上有料同一料金 全席自由席）
 ※前売：すぎのこ「みんなまつり係」
 TEL：03-3984-2397
 FAX：03-3984-2264
 （横浜人形の家はチケットを取扱いません）

【主 催】 公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会

【共 催】 横浜人形の家

【後 援】 横浜市

【出 演】 ●「ネコのおどり場」／人形の家「影絵研修会」卒業公演
 ●「タヌキの夜泣き石」／人形の家「影絵研修会」卒業公演
 ●「彦ーとんちばなし」／ぴっかりぶらざーず
 ●「宝じまん」・「大きなかぶ」／山梨子ども文化研究会
 ●「かもとりごんべえ」／劇団すぎのこ

巡回公演だより

わらしべ長者 班

檜崎 数馬

年が改まり、また新しい一年の始まりを迎えました。とはいえ、私達巡回公演班は、4月から翌年3月までをひと区切りとして活動しているため、新年を迎えるにあたって心機一転まっさらな気持ちで、というよりは、一つの節目に來し方を振り返り自省しつつ、再び氣を引き締め直してことにあた

る、という感覚が強いのです。しかし、毎年、元日の朝の空氣に触れるたび、心に期するものがあるのも確かです。

保育園や幼稚園の子ども達にとっても、1月からは現在のクラスで過ごす一年の後半戦、友達との関係もできて、心身とも4月から大きく成長している時期だと思

います。実際に、一年を通して同じ作品を演じていても、春から夏にかけての上演と、正月を過ぎてからのそれとは、子ども達の観劇中の落ち着きが随分違っていて感じられま

す。もちろん、どちらがいい、という

ことではないとは思いますが、特に年長さんは、小学生になる準備も始まっている中、成長への大

きな一歩を踏み出す前の「わくわく」と「どきどき」が感じられる表情や、園の中ではいちばんお兄さんお姉さんなんだ、という自覺が見て取れて、準備や片付けの合間にふと顔を見ては、ほほえましい氣持ちになります。

私達が上演する作品も、年度末に向けてもうひと踏ん張り。少し大人になった子ども達の心にさらに響いていくよう、精いっぱい演じていきます。

そくくろくろのき 班

後藤 佳世

私は公演に出ると、毎日毎日ホテルのベッドで、明日はどんな子どもに会えるのだろうか、と考えながら寝ます。移動の車の中では、子ども達からもらったドングリや草花の小物を見たり、車内から見える雲を眺めます。すると子ども達の笑顔が見えてくるのです。

公演は丁寧な、失敗はできないぞという氣持ちでやりますが、ハプニングはあります。そういうときはアドリブなどでうまく見せるようにしますが、やはりもつとできたはず、と自分を責めてしまいます。

今回くりのきは二人班、子ども達の想いとピッタリ重なりとすごい力を発揮します。二人より三人と人数が多ければ多いほど、ピッ



タリ重なるのは難しくなっています。でも子ども達に対する想い：これだけは一人一人が持つています。これからさらに寒くなりますが体調管理には氣を付けて頑張っています。これからもすぎのこをよろしくお願い致します。

とべー！ドードー 班

野見山 大輔

ほぼ毎年恒例となっている、長野県上田市内プール公演が、10月に無事終了しました。上田市の保護者会連合会がすぎのこを呼んでくれているので、園児数が10人に満たない小さな園にでも、直接、生の人形劇を届けられることは本当にありがたいことです。

最近では少子化等で、近隣の園が合同で観劇会を行う場合も増えてきました。他会場へ移動するとなると、3歳未満児さんはお留守番が多いようで、少し残念に思っています。言葉や内容が十分にわからないなりに、何かを感じていただけです。「すべての子ども達に生の舞台を！」どんなに僕等がその想いを持つていても、呼んでくださる方々がいないでは成り立ちません。自分がやっついて素晴らしいと思える仕事を、支えてくれる人がいること、本当に感謝です。

園がらの声

わらしべ長者

■江口幼稚園（山口県下松市）

今年も素敵な時間をありがとうございました。子ども達のキラキラ輝いた目、ポカーンと口をあけて食い入るように見入っている姿に、生の人形劇の素晴らしさを実感しました。

週明け、子ども達はかばおくんの話をして、思い出し笑いをしていました。

■八束こども園（岡山県真庭市）

0・5歳児が一緒に観ました。0・1歳さんは場面場面の楽しさ、面白さを感じてくれたようでした。2歳さんのあたりからは自分で観るには少し難しいお話も、絵本を通して読んでもらったことがあるものなので、落ち着いて観ることができました。

生の舞台に触れることができ、「先生、おもしろかったなあ」と伝えてくれた3歳児の表情がとてもよかったです。

■小規模保育所花キュー園（広島県広島市）

久しぶりに公演をお願いすることができました。今回のお話は、小さい子にもとてもわかりやすくよかったです。在園児の年齢が0・1・2歳と限られているのですが、卒園児さんも招待したり、在園児の上の子どもさんの参加も自由にしたので、人数もちょうどよかったと思います。

初めて見る子どもも多く、皆人形劇に引き込まれて、騒ぐことなく、静かに真剣に楽しんで見ていました。ナマの人形劇に触れら

れ、親御さんからは「すごくよかったです。感動しました。こんなに身近で味わえることないですよ」と喜んでもらい、皆さんに来てもらって本当によかったと心から思いました。

遠方からありがとうございました。親御さんからも感謝のお便りがたくさんありました。来年をまた楽しみに待っております。

とべー！ドードー

■山万保育所（茨城県常陸大宮市）

（年長）物語の世界にすーっと入り、最後まで飽きずに見る様子が見受けられました。登場人物のかわいらしさや親しみやすさもよかったです。場面転換もスムーズで、今後の劇遊びに向けて、刺激をたくさんいただきました。

（年中）すんなりとストーリーに入り、子ども達は真剣に見ていました。人形やその他のものの動き音など、演出がとても面白かったです。

（年少）面白い場面もあれば、少しびっくりしてしまった場面もありましたが、最後まで楽しむことができました。効果音が面白くて印象的でした。

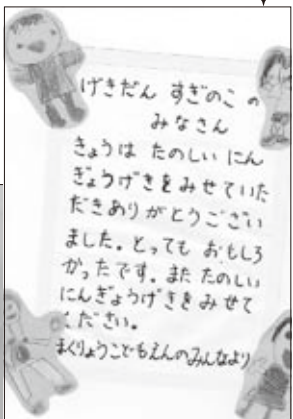
（2歳児）少しストーリーは難しいようでしたが、人形の動きや役者さんの声の変化がとてもよく、子ども達も興味を示し、笑いながら楽しんでいました。

（1歳児）人形の動きや音楽などとてもかわいらしく、最後まで楽しく見ることができました。

■千葉県松戸市保育所

子どもがお話の中に入り込み、夢中になっている表情がたくさん見られました。ドードーが飛んだ時に、「飛べた！」と思わず声が出てしまっていました。壮大な海や宇宙などに場面が変わって素晴らしかったです。素敵なお話でした。

（2歳児）内容が難しいと思いましたが、面白い部分は楽しみ、シ



島根県出雲市北陵保育園幼稚園より



福島県福島市福島わかば保育園より
島根県浜田市夕日ヶ丘聖母幼稚園より

（3歳児）「楽しかった」「木が怖かったけど、あとは怖くなかった」「ケンタくんが滑ったところが面白かった」「ドードーが好き。ケンタくんが会えなくなるからさみしい」「ドードーが水に沈んじゃうところが怖かったけど、ケンタくんが助けてくれた」
（4歳児）テーマが難しいと思いましたが、子どもが「木は命があるからたいたいちゃだめ」と言っていたのが印象的でした。
（5歳児）「木が本物みたいで、本物がしゃべって驚いた」（舞台が）変わる時感動した」
■みなみ保育園（長野県上田市）
テーマが環境問題だったので幼児には少し難しいかなと思いましたが、この年齢でも十分に分かる内容で、本当に楽しんで観ていました。演技も上手でしたし、（宇宙の場面では）地球と小さい人形が出てくるなど、見せ方も非常によかったです。
ハチがブーンと観客席に飛んで

おだんごばん 班

小久保 祐奈

おだんごばん班は二期、東北を中心に回りました。

上演を通してたくさんの子とも達と触れ合うことができ、子ども達の力強いパワーにこちらが圧倒されてしまう程でした。

おだんごばんは、劇中、子ども達も一緒に参加できる歌付き手遊びもあるので、見ているだけではなく、一緒にお話を楽しめるのが魅力だと思います。

また、おだんごばんのくるくる回るかわいらしい動きが、子ども達にとっても人気です。おだんごばんがいろんな動物さんとお会い、食べられてしまいそうになるハラハラ、ドキドキした物語となっています。

子どもの頃の時間はとても貴重で、あっという間に過ぎてしまう気がします。だからこそ50分という時間の1秒1秒を大切に、子ども達としっかり向き合いながら、常に全力で演技をしようと心がけています。思い出というのはほんの一部しか残りませんが、ごくわずかでも子ども達の心に残るような舞台を作れたらと思います。

制作をよる

2016年、また新しい年が始まりました。皆さまの一年が笑顔と喜びにあふれた素晴らしいものとなりますよう、また、実り多き一年となりますよう、お祈り申し上げます。

私は新年を迎えるたび、今年こそ、これはやるぞ！という目標をいくつか挙げるようにしていま



ほんわか劇場

わだ よりこ

「楽しかった」「もう観れないの?」「小学校にも来てよ」「よりちゃん大好き」

昨年11月、ほんわか劇場の上演後、5年間毎年観てくれた保育園の年長児が声をかけてくれました。21人の年長さんの中には、0歳や1歳から在園している子どもが10人ほど居るとのこと。なんだかうれしい気持ちと、「楽しんでもらえるようにがんばるぞ」という気持ちで、いつもよりも緊張気味の私でした。年長児の中から「もう死ぬまで会えないんだよ」そんな声が聞こえました。

す。ですが毎年当然の如く、達成できない目標がいくつかあるのです。新しいこと、知らないことにチャレンジする時、不安や恐怖が襲ってきて。でもそれらは外から降りかかるものではなく、自らが作り出している羞恥心が正体であることに最近やっと気づきました。高校時代の恩師がよく言っていた「明日やろうはばかやろう」。あの頃とは違う捉え方で、今、心に響いています。

現在私達は、来年度の新作を制

皆に見送られて、車に乗り込んでからもその声が耳から離れません。「そうだよな、もう二度と会えないかもな」胸がいっぱいになりました。

この5年間で出会った子ども達はどうしているだろう。皆幸せに大きくなっているだろうか。「なかよし」の上演で大笑いしていたあの子ども達の笑い声。帰り際に、「また、明日来てね」と言う子ども達。人形を大事な友のように抱きしめてくれる子ども達。そして私をも、一瞬で友達にしてくれた子ども達。

子ども達はいつかは今日の上演のことを忘れるでしょう。でもこれから成長する中で、つらいことがあったとき、ふと、この大笑いしたり優しい気持ちになったりした記憶がどこかに残っていて、何かの助けになってくれたらと願うばかりです。

子ども達の真剣さと笑いと優しさで、『ほんわか劇場』の作品も人形も私も成長させていただいたと自己評価しています。

あの時この道を選んでほんとによかった。そして、このすばらしい仕事を一生続けていきたいと思うのです。

作中です。全国の先生方からも多くご要望のありました、日本の民話を予定しております。このお話の主人公は勇気と優しさにあふれ、周りのみんなを幸せにしています。大人になった私でも、そんな主人公の姿を見ていると、自分も「やるぞ」という気持ちになります。来年度より、この作品で勇気と優しさを皆様のもとにお届け致しますので、お楽しみにお待ちください。

(福島亜紀)

くる場面も粹ですね。とても楽しかったです。

おだんごばん

■松島町立松島第一幼稚園(宮城県宮城郡松島町)

当園の子ども達はプロの方の人形劇を見ることがないので、とてもよい機会になりました。初めて見る子ども達が多いので、どんな様子か心配だったのですが、次第に話に引き込まれて集中して見ていました。なかには、舞台装置の変化や衣装の違いにも気づいていた子どももいました。

本当によい経験になりました。特に女性の職員が声を出して笑い、自分達のストレスを発散していました。

■暁の星幼稚園(岩手県北上市)

3〜5歳児での観劇でしたが、最後まで楽しく観ることができました。

大型絵話は、ユーモアたっぷりの内容で本当に楽しかったです。要所所で使われる効果音や、語り手の表情豊かなお話、その表現力は私達教師にとっては、大変勉強になりました。

おだんごばんの人形劇は、子ども達も一緒に歌って歌い、劇の世界に入って楽しむことができました。事前に楽譜をいただいたのはよかったです。



▲島根県浜田市杵束保育園より



■酒田市松陵保育園(山形県酒田市)

とても楽しかったです。1部はしつとりした紙芝居、2部は最近ドタバタしている劇が多い中、じっくりと演じる方の雰囲気も伝わってきて、心地よい気持ちで見ることができました。

観劇後、2、3日はおじいさん、おばあさん役で劇遊び(言葉のやり取り)を楽しんでいました。

そつろのそつろ

■たちばな幼稚園(佐賀県武雄市)

一つの命が生まれるためには、考えられないほどのたくさんの命の存在があり、それらすべてがつながって今があるということ。大切なものについて忘れがちになってしまう永遠の命のテーマを、分かりやすく、子どもに親しみやすい内容で伝えていただきました。目の前で繰り広げられる人形劇の生の迫力とともに、子ども達の心につまみでも残ってくれることを願っています。

心豊かになるひとときを届けていただいたことに感謝申し上げます。

■ひろにわ保育所(福岡県朝倉市)

0〜5歳まで、泣く子どもほとんどおらず、とても喜んで見ていました。強い光や音はなく、物語の力、音楽の力、演じ手の力、でたくさんのくりの木が現れた時には、子ども達は自然に手をたたき始めていました。日頃元気のいい男の子が終了後、「かんだうした」と言ったそうです。

人形と演じ手が一緒に表現する方法、違和感なく、とてもいいと思いました。

■豊北こども園(山口県下関市)

最初の腕人形は、一人で演じておられるとは思えないくらい人形の動きがすばらしかったです。会場が明るかったこともあって、暗闇を怖がる子ども、このお話は楽しく笑いながら見ることができました。「そつろのくりのき」のお話

も、人形の動きや飛ぶ鳥、背景(仕掛け)など演出がすばらしく、子ども達が集中して見ることができました。二人だけで演じているとは思えませんでした。

私達保育士にとって、とても参考になりました。大きい子から小さい子まで、飽きることなく見ることができた内容でした。

三回のお話

■サムエル幼稚園(東京都大田区)

子どもの反応が素晴らしいです。プロの話し方、演技力、客席とのあうんの呼吸、その場に合った対応力、私達教師陣も大変勉強になりました。親子で並んで観劇するのとは違い、互いに共感し見つけながら笑い、うなずき合い、怖い場面では手をつなぐ。共感し合うとても大切な保育だったと思っています。

私どもの幼稚園は、間もなくクリスマスに向け、祝う劇発表会があります。今回の活動がそのきっかけとなることでしょう。また、保護者の反応も例年以上で、帰宅した後、子どもたちの多くが、見えた人形劇の話をしていたそうです。

ほんわか劇場

■座間市立ひばりが丘保育園(神奈川県座間市)

私もやさしいライオンの大型絵本を持っていますが、悲しすぎ、内容が重く小さな子には難しいのではと考えていました。でも、よりこさんは悲しすぎない演じ方で、心に残るものを見せてくださいました。とてもよかったです。

■美杉台保育所(埼玉県飯能市)

始まって数十秒で子どもたちの心をつかんでいました。途中、泣き出した子どもが増えたところでフレッシュ(手のストレッチ)に取り組み、最後まで飽きさせないようにする配慮がすばらしかったです。

保育に活かせる 発声講習会

昨年の10月31日(土)、鹿児島県指宿市の乗船寺保育園に於いて、発声講習会を行いました。

この事業は、公益財団法人JK Aより補助を受け、平成27年度青少年の健やかな成長を育む活動補助事業「保育者のための人形劇教室」のもとに行われたものです。

今回は、先生方から要望があった「発声講習会」です。ふだん、元気な子ども達と接している先生方は、ついつい大きな声を出して、喉を潰してしまったりすることがあります。喉に負担のかからない発声の仕方や、もっとハッキリ話す方法を知りたい…等の声がありました。

午前中に人形劇を観劇していただいた10名の先生方が、約13時30

分、園のホールに集合しました。

全員でラジオ体操をして体をほぐし、すぎのこが新人訓練で使用しているテキストを基に講習を行いました。まずは、呼吸から始まり、発声、発音など。始め、少し緊張していた先生方からも、いつしか笑い声も出て、あつという間に予定の時間が来てしまいました。先生方がこの講習会に参加したことで、少しでも今後の保育に活かされることがあれば…と願っています。

すぎのこでは、時間をかけない、お金をかけない「人形劇講習会」「影絵芝居講習会」「発声講習会」など、保育現場に根ざした講習会を今後も展開していきます。

現在も受け付けておりますので、来年度のスケジュールも含め、お問い合わせください！

(下村あきら)

発声講習会に参加して

社会福祉法人 一子地福祉会
乗船寺保育園

神川 あゆみ

今回初めて発声の仕方についての講習をしていただきました。ふだん、なかなか意識することのない「呼吸」について話を聞きながら、呼吸方法を見せていただいたり、私達も実際に体験しながらの講習でした。

呼吸の仕方の違いについての話を聞いたあとは、発声の練習です。一人一人実際にやってみることで、自分と他人との違いや、人が発声している時、どこに意識を向けるかによって声の響きの違いを感じる事ができました。

腹式呼吸を使って、声を真つすべく遠くに届くように意識するだけで、これだけ違うのだということに驚きました。

今回学んだことを、子ども達への素話や読み聞かせに少しでも活かしていけたらと思います。



公益財団法人 JK A補助事業



保育者のための人形劇教室

当法人は公益財団法人JK Aより補助を受け、「平成27年度青少年の健やかな成長を育む活動補助事業」の一環として「保育者のための人形劇教室」というワークショップを全国各地の公演先で行っております。

今回の事業をとり行うに当たり、全国の先生方からのご要望をうかがう際、子ども達に直接関わる先生ならではの悩み、課題、問題等、

様々なお話をいただきました。

その中で、当法人がふだん行っている人形劇に関連するものもいろいろとありました。例えば、大きな声を出すのが苦手、声が細いと言われてしまうなど声に関する悩み。それから行事の出し物としての人形劇やパネルシアター等が必要となる、せりふの言い回しや抑揚の付け方、間の取り方など実演に関する悩み。

(白石 高章)

事務局 だより



研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現財団法人JK A)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と、日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」、埼玉県に日本宝くじ協会の助成により建設された「すぎのこ飯能研修センター」があります。

いずれの施設も緑ゆたかな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や演劇等の芸術文化活動や公益活動にお貸しして

そういった先生方のご要望に合わせた、ふだんの保育で活かせる発声講習、人形劇講習や影絵芝居講習等を行っております。

ご要望を聞いたり、ためになったと喜んでいただいたりする中で、改めて今回の事業の重要性、当法人の担う社会貢献への役割を感じつつ、少しでも先生方や未来を担う子ども達の手助けができればうれしい限りです。

おかげさまで三学期も全国各地からたくさんのご予約をいただいております。皆様からのお問い合わせもお待ちしております。

補助を賜りました公益財団法人JK A様には、心より御礼申し上げます。

います。

合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません)

婦恋村にある「すぎのこ婦恋研修センター」近くには、海拔1200m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉施設「湖畔の湯」やバラキ高原婦恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはテントサイト(シャワー室・トイレ完備の専用洗面棟併設)や雨天でもバーベキューが楽しめる集会棟、アスレチック広場等が整備され、日本キャンプ協会の優良キャン

プ場として認定されています。

埼玉県飯能市にある「すぎのこ飯能研修センター」は、都心から電車で約一時間程度の場所にありながら閑静で落ち着いた環境に恵まれ、135㎡の多目的フロアの他、和洋研修室を完備しており、研修会や芸術文化活動に広くご利用いただける施設です。また、周辺には飯能の観光スポットとして有名な「天覧山」や「飯能河原」等も徒歩圏内にありますので、利用された折には、ぜひ散策してみたいかがでしょうか。

各施設の利用可能な期間や時間等、詳細につきましてはお問い合わせください。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。

い合わせ

E-mail/support@suginoko.org
または03-33984-2396
(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ
E-mail/info@suginoko.org
または042-971-4121
(創造部)



飯能研修センター



婦恋研修センター

活動記録(平成27年10月~12月)

- 10/31 発声講習会開催 於・乗船寺保育園(鹿児島県指宿市)
- 11/18 ハンカチ人形作り教室 於・四番町児童館(東京都千代田区)
- 12/25 第二学期全国巡回公演終了